平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 文化シヤッター株式会社　　上場取引所　東
コード番号 5930　URL http://www.bunka-s.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂木 哲哉
問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　(氏名) 西村 浩一　TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日　平成26年2月5日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	85,364	7.4	4,980	57.4	5,326	57.0	3,042	78.6
25年3月期第3四半期	79,479	12.5	3,164	72.6	3,391	84.1	1,703	69.5

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　4,113百万円　(80.8%)　25年3月期第3四半期　2,275百万円　(775.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	43.58	―
25年3月期第3四半期	25.93	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,712	45,473	43.8
25年3月期	95,684	39,278	41.0

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　45,473百万円　25年3月期　39,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	4.00	―	6.00	10.00
26年3月期	―	6.00	―		
26年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	6.3	7,000	26.9	7,900	16.5	6,000	△10.9	83.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	72,196,487 株	25年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	494,000 株	25年3月期	6,487,486 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	69,830,783 株	25年3月期3Q	65,714,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和策や経済政策への期待感から円安が進行し、株価が上昇するなど、緩やかながら景気回復の兆しが見られた一方で、海外経済の鈍化や円安による原材料価格の上昇、さらには来年度からの消費税増税等の懸念もあり、依然として先行きの不透明感は拭い切れない状況で推移しました。

このような状況下におきまして、当第３四半期連結累計期間の売上高は、85,364百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。利益面におきましても、「企業革新の実現」の基本方針のもと、販売数量の増加及び利益率の向上に向けて、当社グループ（当社及び当社の関係会社）一丸となって取り組むとともに、企業コストの低減を図るＢＸＴＣＲ（BX Total Cost Reduction）活動を継続推進し、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は4,980百万円（前年同四半期比57.4%増）、経常利益は5,326百万円（前年同四半期比57.0%増）、四半期純利益は3,042百万円（前年同四半期比78.6%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

１．シャッター関連製品事業

大規模商業施設及び大型物流倉庫向けの重量シャッターやバッテリーが不要な機械式危害防止装置「エコセーフ」等が好調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は33,837百万円（前年同四半期比10.9%増）となり、営業利益は4,409百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

２．建材関連製品事業

大規模商業施設及びオフィスビル向けのスチールドアやパーティション等が好調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は31,000百万円（前年同四半期比3.4%増）となり、営業利益は893百万円（前年同四半期比636.0%増）となりました。

３．サービス事業

修理、メンテナンス事業が堅調に推移しました結果、連結子会社文化シヤッターサービス株式会社を中心に、当第３四半期連結累計期間の売上高は10,397百万円（前年同四半期比3.8%増）となり、営業利益は905百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

４．リフォーム事業

競争が激化しているリフォーム業界ながら、定額パッケージ商品の拡販やリピートオーダーを頂くための取り組みを推し進めました結果、連結子会社ゆとりフォーム株式会社を中心に、当第３四半期連結累計期間の売上高は7,790百万円（前年同四半期比7.9%増）となり、営業利益は485百万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

５．その他

平成23年に市場参入しました太陽光発電システム事業及び平成24年に市場参入しました止水事業が堅調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は2,338百万円（前年同四半期比34.1%増）となり、営業利益は125百万円（前年同四半期比309.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は103,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,028百万円増加しました。流動資産は68,089百万円となり、6,078百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少（3,542百万円）した一方で、現金及び預金が増加（4,957百万円）、商品及び製品が増加（3,637百万円）したことが主な要因であります。固定資産は35,622百万円となり、1,950百万円増加しました。これは、投資有価証券が増加（1,127百万円）したことが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末の負債は58,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,833百万円増加しました。流動負債は39,289百万円となり、2,242百万円増加しました。これは、未払法人税等が減少（1,479百万円）した一方で、支払手形及び買掛金が増加（1,312百万円）、短期借入金が増加（1,100百万円）したことが主な要因であります。固定負債は18,949百万円となり、409百万円減少しました。これは、退職給付引当金が増加（288百万円）した一方で、長期借入金が減少（600百万円）したことが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は45,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,195百万円増加しました。これは、配当金の支払い（824百万円）により減少した一方で、四半期純利益の計上（3,042百万円）により増加したこと、自己株式6,000,000株の処分により資本剰余金が増加（1,137百万円）及び自己株式が減少（1,772百万円）したこと、その他有価証券評価差額金が増加（1,037百万円）したことが主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月15日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,113	21,071
受取手形及び売掛金	30,637	27,094
商品及び製品	8,355	11,993
仕掛品	755	869
原材料及び貯蔵品	2,620	2,699
その他	3,736	4,551
貸倒引当金	△207	△190
流動資産合計	62,011	68,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,378	6,220
土地	8,495	8,523
その他（純額）	2,703	3,534
有形固定資産合計	17,577	18,278
無形固定資産		
のれん	244	197
その他	726	699
無形固定資産合計	971	897
投資その他の資産		
投資有価証券	8,479	9,607
その他	7,509	7,475
貸倒引当金	△864	△635
投資その他の資産合計	15,124	16,447
固定資産合計	33,672	35,622
資産合計	95,684	103,712

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,692	23,004
短期借入金	1,800	2,900
1年内償還予定の社債	―	120
未払法人税等	2,400	920
賞与引当金	2,353	1,426
役員賞与引当金	122	88
工事損失引当金	120	68
その他	8,557	10,760
流動負債合計	37,046	39,289
固定負債		
社債	120	―
長期借入金	1,280	680
退職給付引当金	16,328	16,616
役員退職慰労引当金	492	504
資産除去債務	47	48
その他	1,090	1,099
固定負債合計	19,359	18,949
負債合計	56,406	58,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,159	12,297
利益剰余金	13,424	15,642
自己株式	△1,914	△145
株主資本合計	37,721	42,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472	2,510
土地再評価差額金	13	△17
為替換算調整勘定	70	135
その他の包括利益累計額合計	1,557	2,627
純資産合計	39,278	45,473
負債純資産合計	95,684	103,712

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	79,479	85,364
売上原価	58,295	61,599
売上総利益	21,184	23,765
販売費及び一般管理費	18,019	18,785
営業利益	3,164	4,980
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	129	153
受取賃貸料	65	66
貸倒引当金戻入額	93	164
その他	151	109
営業外収益合計	447	503
営業外費用		
支払利息	87	52
持分法による投資損失	50	12
その他	82	92
営業外費用合計	220	157
経常利益	3,391	5,326
特別利益		
固定資産売却益	187	2
持分変動利益	－	121
特別利益合計	187	124
特別損失		
固定資産売却損	－	5
固定資産除却損	58	13
特別損失合計	58	19
税金等調整前四半期純利益	3,521	5,431
法人税等	1,817	2,388
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703	3,042
四半期純利益	1,703	3,042

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,703	3,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404	993
為替換算調整勘定	17	37
持分法適用会社に対する持分相当額	149	40
その他の包括利益合計	571	1,070
四半期包括利益	2,275	4,113
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,275	4,113
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年６月３日開催の取締役会決議に基づき、平成25年６月18日付で公募による自己株式5,250,000株の処分を行い、平成25年７月10日付で第三者割当による自己株式750,000株の処分を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において資本剰余金が1,137百万円増加、自己株式が1,772百万円減少し、当第３四半期連結会計期間末において資本剰余金が12,297百万円、自己株式が145百万円となっております。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,502	29,994	10,019	7,219	77,735	1,744	79,479	－	79,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,926	3	560	3	2,493	88	2,582	(2,582)	－
計	32,429	29,997	10,579	7,222	80,228	1,833	82,062	(2,582)	79,479
セグメント利益	3,620	121	892	316	4,950	30	4,981	(1,816)	3,164

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,816百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,811百万円、棚卸資産の調整額△４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、新たに鐵矢工業株式会社の株式を取得し、同社及びその子会社である東北鐵矢工業株式会社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額（償却前）は、当第３四半期連結累計期間においては304百万円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,837	31,000	10,397	7,790	83,025	2,338	85,364	－	85,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,155	7	535	1	2,700	106	2,807	(2,807)	－
計	35,993	31,007	10,932	7,792	85,726	2,445	88,171	(2,807)	85,364
セグメント利益	4,409	893	905	485	6,693	125	6,818	(1,838)	4,980

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,838百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,835百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。